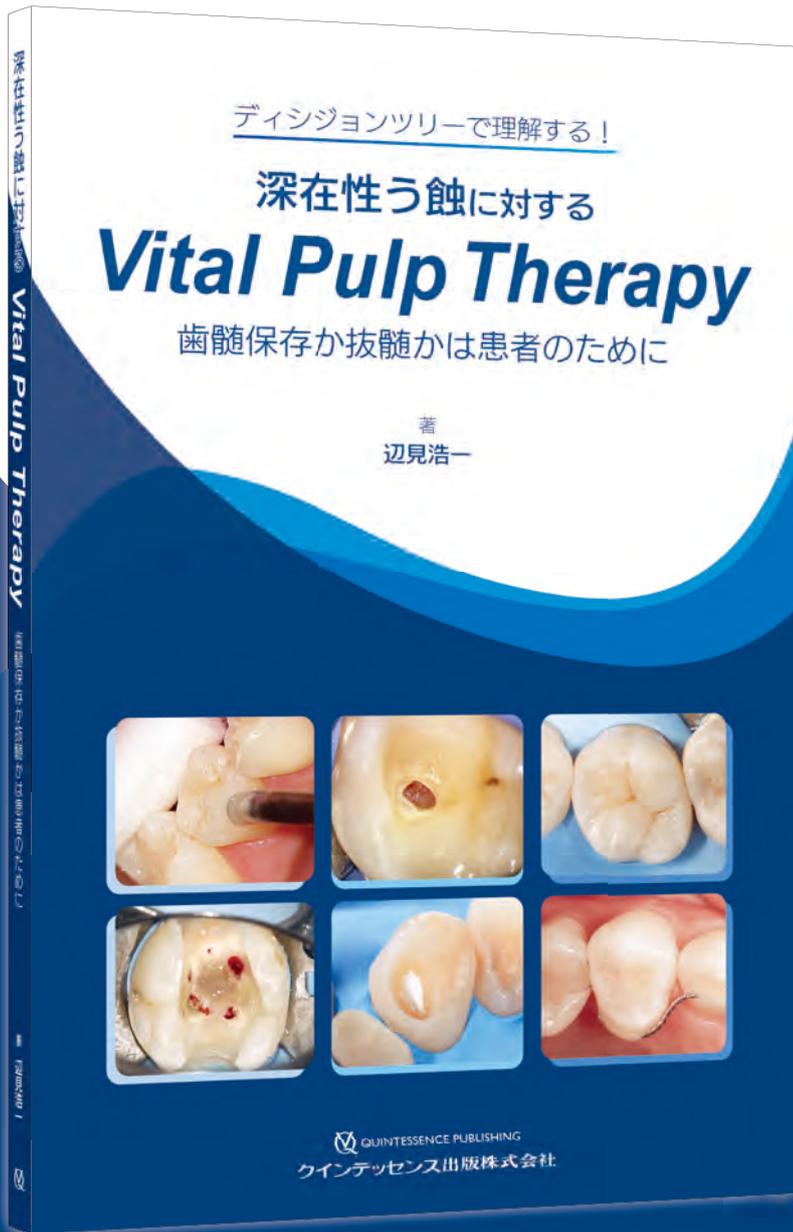


深いう蝕を見つけたときに読みたい一冊！



本書では、まだ明確な基準がなくあまい治療である“深在性う蝕に対する Vital Pulp Therapy (VPT；生活歯髄療法)”を、著者考案のディジジョンツリーを用いて5つのフェーズに分けたうえで、検査、診断、治療選択、患者説明まで、豊富な図と症例写真でわかりやすく解説している。

また、VPTを行ううえで、必ずしも歯髄を保存することが患者にとって有益であるとは限らず、“保存するか、抜髄するか”に関する考え方も存分に学べる一冊となっている。

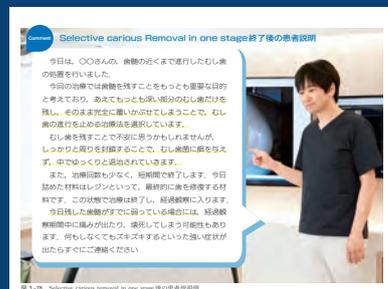
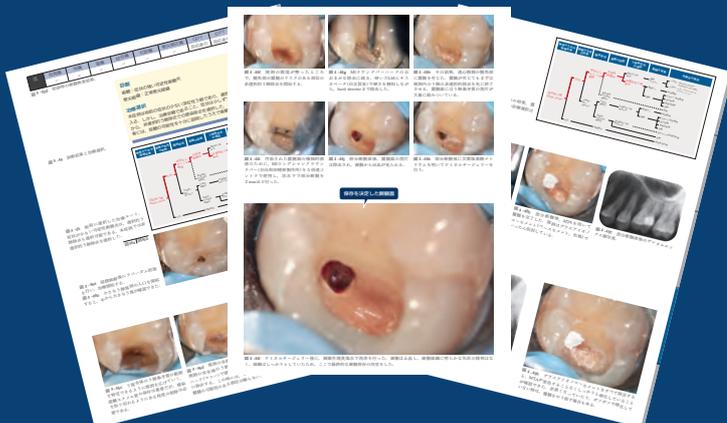
VPTとは？

VPTとは、歯髄が生きている歯に対して行う治療の総称である。ごく初期のう蝕に対する予防的な処置から、深く進行したう蝕への対応までを含み、近年では歯髄保存治療が注目されている。なお、歯髄を保存することが困難な場合には、抜髄(根管治療)へ移行することもあり、VPTは生活歯に対する幅広い治療を包括する概念である。

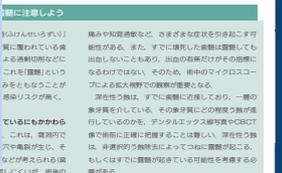
著
辺見浩一

Topics

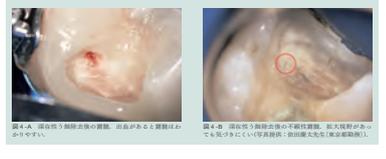
▼ディジジョンツリーと豊富な臨床例で深在性う蝕へのVPTをていねいに解説！



◀ VPTで重要な患者説明の具体例も掲載！



▶ 書籍の理解が深まるコラムも随所に！

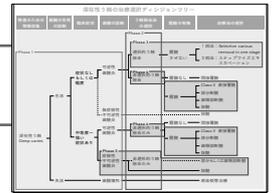
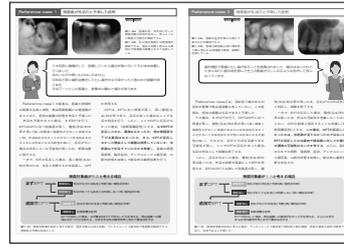


プロローグ 深在性う蝕の基礎知識

Phase 1 歯髄の診断

1. まずは徹底的な情報収集
2. 歯髄の生死の判定
3. 歯髄炎診断の臨床の実際
4. 歯髄炎は可逆性か？ 不可逆性か？
5. 術前に診断することが困難なルート—無症候性不可逆性歯髄炎—

患者説明 適切な患者説明は生活歯髄療法 of 1 スキル



Phase 2 う蝕除去法の選択

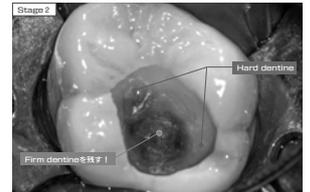
1. 深在性う蝕の除去法の選択
2. う蝕に対する歯髄の反応
3. 現在のう蝕除去基準
4. 術前の歯髄状態を考慮した新しいう蝕除去基準の提案
5. 術前の歯髄症状とう蝕の進行度で考えられる3つの臨床状態に対するう蝕除去基準の提案
6. 非選択的う蝕除去の臨床の実際



Phase 3 選択的う蝕除去による露髄の回避—ステップワイズエクスカベーション—

1. 選択的う蝕除去により露髄を避けるルート—名称の統一とステップワイズエクスカベーションの意義—
2. ステップワイズエクスカベーションの臨床上のポイント
3. ステップワイズエクスカベーションに対する懐疑的な意見—臨床で採用すべき治療法か？—
4. ステップワイズエクスカベーションの成功と失敗を臨床例から考察する

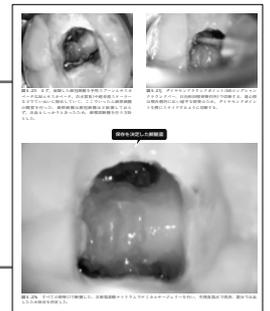
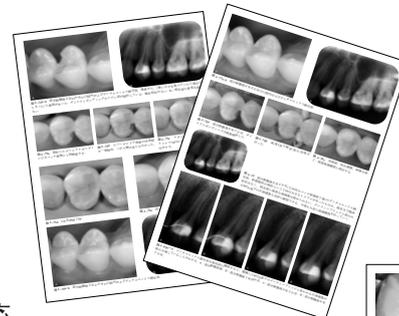
患者説明 選択的う蝕除去によって露髄を避けるルートの患者説明



Phase 4 非選択的う蝕除去後の露髄への対応 —深在性う蝕への断髄の有用性—

1. 深在性う蝕に対する非選択的う蝕除去法の選択
2. 直接覆髄
3. 深在性う蝕の露髄に対する断髄の有効性
4. 深在性う蝕による露髄は、直接覆髄と部分断髄のどちらを選択する？
5. なぜ、断髄の成功率は安定するのか？
6. 断髄面観察を臨床例とともに考察する
7. 断髄面の視診と診断のこれから

患者説明 深在性う蝕の非選択的う蝕除去治療の患者説明



Phase 5 症候性不可逆性歯髄炎の兆候を有する深在性う蝕への対応

1. 歯頸部断髄
2. 抜髄

患者説明 術前に症候性不可逆性歯髄炎を有する患者への説明

エピローグ 歯髄保存をあきらめない

きりとり線

注文書

深在性う蝕に対する Vital Pulp Therapy 歯髄保存か抜髄かは患者のために

モリタ商品コード:208041038

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
 ※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。